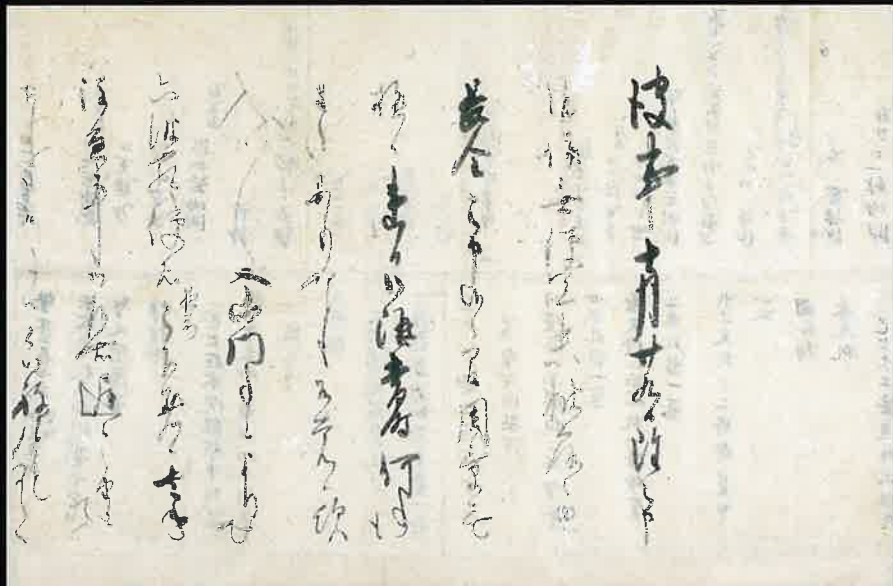
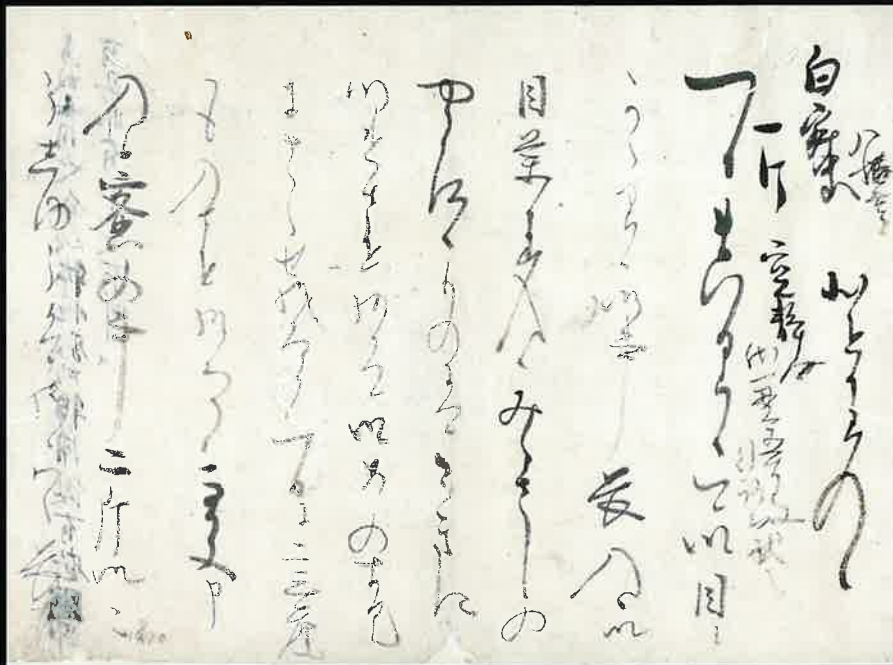


特別展

国宝に見る

薬と食べ物



令和7(2025)年7月18日(金)～8月31日(日)

神奈川県立金沢文庫

上 国宝 氏名未詳書状 鎌倉時代 中 国宝 金沢貞顕書状 鎌倉時代 下 国宝 薬種日記 鎌倉時代 すべて称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫管理

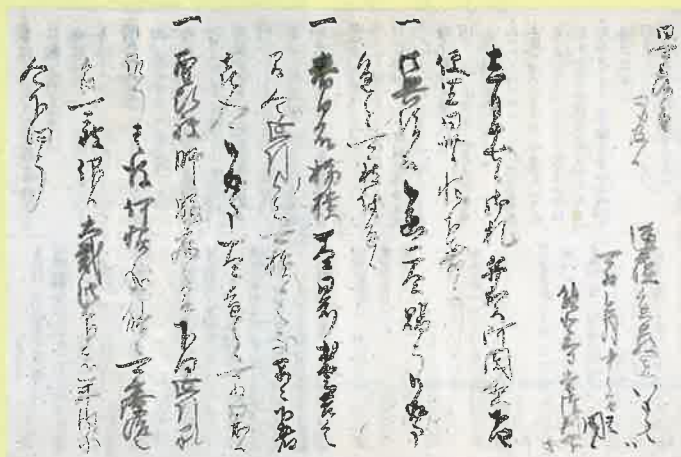
【開館時間】 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
【休館日】 毎週月曜日(ただし7月21日、8月11日は開館)、
7月22日(火)、8月12日(火)
【観覧料】 一般 400円(300円) 20歳未満・学生 250円(200円)
65歳以上 200円(100円) 高校生 100円
中学生以下・障がい者の方は無料
※()内は20名以上の団体料金

【交通】 京急線「金沢文庫駅」東口より徒歩12分(快特で品川駅より
33分、横浜駅より16分)
シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分(JR根
岸線 新杉田駅接続)
【主催】 神奈川県立金沢文庫 【協力】 横浜市金沢区役所
〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 電話 045-701-9069 FAX 045-788-1060
<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>

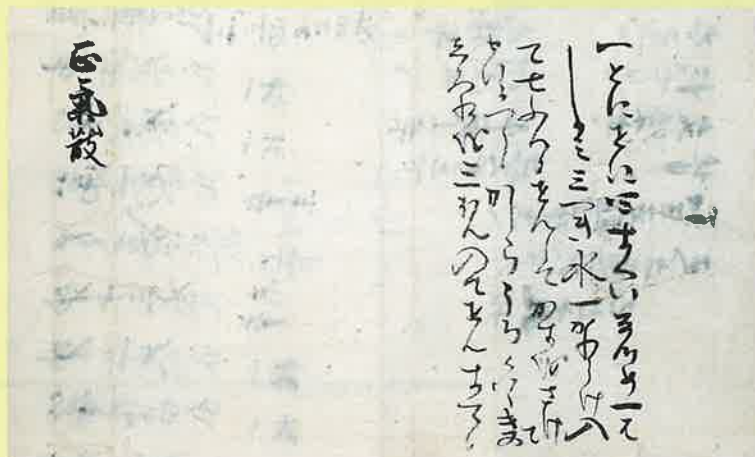
特別展 国宝に見る 薬と食べ物

「薬」と「食べ物」は、今も昔も人々の生活に欠かせないものです。県立金沢文庫が管理する国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」は日本中世の政治や仏教だけでなく、生活や文化を知る上でも重要な史料群で、「薬」と「食べ物」に関する豊富な情報を教えてくれます。

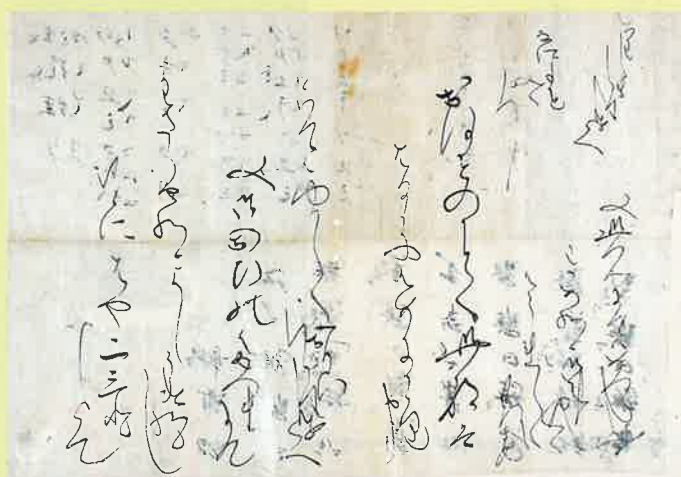
本展では、「称名寺聖教・金沢文庫文書」の中に見られる「薬」と「食べ物」に関する史料をご紹介します、中世に生きた人々の生活の一端を垣間見てみます。



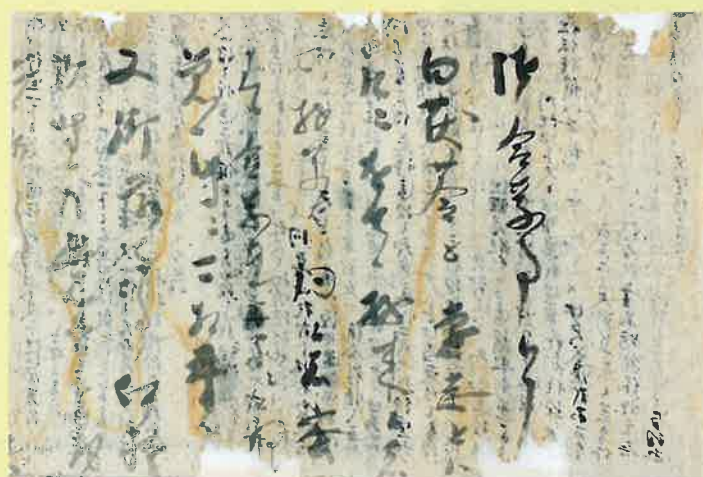
① 国宝 金沢貞顕書状 鎌倉時代
金沢貞顕が出雲の海苔を贈られ、早く到着したことを喜んでいる。



② 国宝 正気散処方 鎌倉時代
「正気散」という薬の服用の仕方が書いている。



③ 国宝 氏名未詳書状 鎌倉時代
書状の書き手は「このあたりではわかれが珍しい」と述べている。



④ 国宝 氏名未詳書状 鎌倉～南北朝時代
薬の原料を調達したり薬を蜜で調合したりする様子が書かれている。

①～④はすべて称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫管理

【関連行事】

【講座】

① 文庫長講座「国宝に見る 薬と食べ物の見どころ」

令和7年8月9日(土) 13時30分～15時

講師：向坂卓也(神奈川県立金沢文庫文庫長)

② 月例講座「中世寺院の食糧事情」

令和7年8月31日(日) 13時30分～15時

講師：三輪真嗣(神奈川県立金沢文庫学芸員)

会場：神奈川県立金沢文庫 地下大会議室

定員：70名(超過した場合は抽選。)

受講には当日の観覧券が必要です。

【申込方法】

金沢文庫HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お一人様1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①7月24日(木)、②8月14日(木) 必着でお申し込みください。

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 神奈川県立金沢文庫
電話 045-701-9069 FAX 045-788-1060

【展示解説】

ボランティアによる展示解説を、土、日、祝日の14時および15時からおこないます。事前申し込み不要、出入り自由です。

【展示構成】

●薬

薬の種類 薬の調合 薬の値段 ほか

●食べ物

野菜・海藻類 旬の食材 産地のわかる食材 ほか



【次回予告】

特別展 金沢八景みほとけ巡礼
令和7年9月5日(金)～11月9日(日)